## 平成30年第 I 回短答式管理会計論

問題 6 当工場は、連産品A、B、Cを生産し、これらを加工の上、製品として販売している。 次の[資料]に基づき、当月の連産品Cの1kg当たりの製造原価を正常市価基準によって 計算し、製品が全て売り上げられた場合の製品Cの営業利益の総額を示す正しい番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合、計算途中では四捨五入せず、最終数

## 〔資料〕

1. 当月生産データの一部

値の円未満を四捨五入すること。(8点)

連産品	生産数量	連産品分離後の 個別加工費	売却価格 (1 kg 当たり)
А	30, 000 kg	22, 500, 000 円	1, 250 円
В	21, 000 kg	9, 200, 000 円	1,000円
С	24, 000 kg	6, 000, 000 円	800 円

(注) 当工場の当月における個別加工費を含まない段階での実際総合製造原価の合 計額は、36,250,000円である。

## 2. 計算条件

- (1) 月初および月末在庫はなく、当月投入全てが製品となっている。
- (2) 販売費及び一般管理費は、いずれの製品も1kg 当たり15円であるが、連産品原 価の分離上考慮しない。
  - 1. 791, 250 円
- 2. 867, 010 円
- 3. 877, 500 円

- 4. 1, 106, 250 円
- 5. 1, 227, 010 円
- 6. 1, 237, 500 円